



令和5年  
2月16日  
94号



## 県政報告

埼玉県議会自由民主党県政調査事務所 神尾たかよし事務所

埼玉県議会自由民主党議員団 副団長

令和元年度 埼玉県議会議長 (第122代)

令和4年度  
所属委員会

● 常任委員会 / 環境農林常任委員会  
● 特別委員会 / 自然再生・循環社会対策特別委員会

# 高病原性鳥インフル発生を受け 国に生産者支援を緊急要望！

養鶏農家を力強く応援！



埼玉県議会自民党県議団  
田村琢実 幹事長

埼玉県議会自民党県議団  
神尾高善 副団長

自由民主党衆議院議員

野中 厚 農林水産副大臣

埼玉県養鶏協会

嶋田 浄 会長

1月17日、鳥インフルエンザの対応と養鶏農家支援について、埼玉県養鶏協会と埼玉県議会自由民主党議員団の連名で、農林水産省に対して緊急要望を行いました。  
※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています。

野中農水副大臣へ要望書を手渡しました。

要望書では発生農場や養鶏産業への支援や、風評被害防止への取り組み強化を強調。ワクチンの活用検討や、食料安定確保の観点から、現在の飼養羽数全羽殺処分の見直しなど、防疫方針の抜本的見直しについても求めました。

## 主要要望内容

### ●発生農場及び養鶏産業に対する支援、近隣住民対策について

鳥インフルエンザの発生において経営再建までに少なくとも6か月以上必要とされていますが、その間に雇用を継続することが困難な状況です。現在は社会保険の休業手当を職員の給与として当ててい

ますが、それでは雇用を継続的に確保できません。そこで、新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動の縮小時に適用された雇用調整助成金と同様の対策をお願いします。

### ●育雛育成農家の移動、搬出制限での補償について

### ●防疫方針の抜本的な見直しについて

例年にない速さで全国に鳥インフルエンザの感染が拡大する中で、今の防疫体制の強化と殺処分及び埋却処分一辺倒のやり方で抑えられるのか疑問があ

ります。養鶏産業擁護の見地から、蔓延防止と速やかな飼育再開を両立させるルールの整備が急務です。

■ ワクチンの活用を検討

■ 飼養羽数全羽の殺処分を見直し

埼玉県議会 3月定例会は2月20日(月)～3月17日(金)26日間の会期で行われる予定です。

9月・12月定例会

# 物価高騰対策で福祉を支援

高騰する光熱費・食材料費の影響を緩和するため

## 福祉施設への補正予算

### 福祉施設の運営継続に対する支援

.....1,960,615千円

高騰する光熱費等の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ等に対し補助する。

- **高齢者施設** .....1,576,150千円
  - ①入所系 12,000円/定員1人
  - ②通所系 150,000円/施設
  - ③訪問系 50,000円/施設
- **障害者施設** .....235,300千円
  - ①入所 9,000円/定員1人
  - ②グループホーム 60,000円/施設
  - ③通所(者) 60,000円/施設
  - ④訪問 30,000円/施設
  - ⑤通所(児) 30,000円/施設
- **児童養護施設等** .....14,734千円
  - ①児童養護施設、乳児院等 10,000円/定員1人
  - ②ファミリーホーム等 8,000円/定員1人
- **保育所等** .....119,675千円
  - 保育所、認定こども園等 1,700円/定員1人(県1/2, 市町村1/2)
- **放課後児童クラブ**.....14,756千円
  - 500円/定員1人(県1/2, 市町村1/2)



福祉関係者が県担当部局へ要望

### 福祉施設に対する支援

.....791,881千円

高騰する食材料費の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所等に対し補助する。

- **高齢者施設** .....551,280千円
  - ①入所系 5,000円/定員1人
  - ②通所系 60,000円/施設
- **障害者施設** .....92,500千円
  - ①入所系 5,000円/定員1人
  - ②通所系 60,000円/施設
- **児童養護施設等** .....7,310千円
  - 児童養護施設、ファミリーホーム等 5,000円/定員1人
- **保育所等** .....140,791千円
  - 保育所、認定こども園等 2,000円/定員1人(県1/2, 市町村1/2)

## 県庁舎の県北部地域への整備を求める 埼玉県議会議員連盟を結成！ 会長に神尾高善



県議会において「県庁舎を県北部地域への整備を求める議員連盟」が発足しました。

現在、埼玉県の本庁舎は築70年が経過し、狭隘化と老朽化という問題を抱えています。そこで「防災拠点を含めた機能分散だけでなく、県北部の経済・文化・教育などの底上げを実現する」という理念のもとに、県庁舎の県北への移転を目指し、超党派26名の県議会議員に参加していただき推進議員

連盟を立ち上げました。

12月には地震災害について勉強会が開催され、講師の大学教授からは「地震リスクを軽減させるのであれば県北地域への庁舎建設が望ましい」という発言もありました。

県庁舎移転が実現すれば、県北における交通網整備・人口の流入・企業の誘致などへの影響が期待されます。



議連 新井豪幹 幹事長と

### 県北全体の底上げで、深谷・寄居・美里の成長につなげよう！

- 県庁舎の県北(熊谷市以北)移転で、県土の均衡ある発展と南北格差の是正。
- 新市街地(市街化区域)の創出で住宅用地・企業用地の確保。  
(寄居スマートインター・松久駅周辺、岡部駅南、花園インター周辺など)
- 県北地域における交通の利便性を力強く推進。(熊谷バイパスを利用した首都高延伸)
- 新たな人口の流入で、県北地域の人口減少を阻止。

各地域でのお困りごと御要望をお寄せください

連絡先 深谷市針ヶ谷399-1 TEL 048-585-3929



スマートフォンはこちらから

ホームページ kamiotakayoshi.com

Facebook(フェイスブック)で情報発信中!